

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター職員採用試験申込書

<p><b>記入心得</b></p> <p>1. 記入にあたっては、インク（ボールペン可）で丁寧に記入し、□の中には該当するものに✓印をつけてください。印の箇所は、すべて押印してください。</p> <p>2. 数字はすべて算用数字を用いてください。</p> <p>3. 現住所は地番まで詳しく記入してください。</p> <p>4. 記載事項に不正があると採用される資格を失うことがあります。</p>		<p align="center"><b>写 真</b> (縦30~40mm ×横24~30mm)</p>			
<p><b>1 試験区分</b></p> <p align="center"><b>診療放射線技師</b> (短大3卒程度)</p>		<p><b>2 氏名 (フリガナ)</b></p> <p align="center">旧姓 ( )</p>			
<p><b>3 生年月日・性別・年齢</b></p> <p>昭和 年 月 日生 満 歳 平成</p> <p>性別 <input type="checkbox"/>男 <input type="checkbox"/>女</p> <p>(令和 年 月 日現在)</p>		<p><b>4 現住所 (フリガナ)</b></p> <p>〒</p> <p align="right">電話 &lt; &gt; - 携帯 &lt; &gt; -</p>			
<p><b>5 学歴 最終学歴から高等学校まで順に書いてください。所在地は町村まで書いてください。</b></p>					
学 校 名	類 別	学 部 科 別	所 在 地	在 学 期 間	○でかこむ
	全・定			昭・平・令 年 月から 昭・平・令 年 月まで	卒 卒見込 __年中退
	全・定			昭・平・令 年 月から 昭・平・令 年 月まで	卒 卒見込 __年中退
	全・定			昭・平・令 年 月から 昭・平・令 年 月まで	卒 卒見込 __年中退
	全・定			昭・平・令 年 月から 昭・平・令 年 月まで	卒 卒見込 __年中退
<p><b>6 次の質問に該当する、しないを答えてください。</b></p>				<p><b>7 特殊技能、検定資格免許その他特殊な技能を有する人は、その名称および取得年月日を書いてください(有資格者の場合は応募職種の免許含む)。</b></p>	
<p>イ) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者</p>		<p><input type="checkbox"/>該当する <input type="checkbox"/>該当しない</p>		免許種類	取得年月日
<p>ロ) 岐阜県が設立する一般地方独立行政法人の職員として懲戒解雇の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者</p>		<p><input type="checkbox"/>該当する <input type="checkbox"/>該当しない</p>			・ ・
<p>ハ) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者</p>		<p><input type="checkbox"/>該当する <input type="checkbox"/>該当しない</p>			・ ・

# 職 歴

※職歴がない場合は「なし」と記入し提出してください。

元 号	年	月	日	事 項

以上のおり相違ありません。

令和 年 月 日

氏 名 印

# 面 接 力 ー ド

受 験 番 号  
( 記 載 不 要 )

試験区分	(フリガナ) 氏 名	生年月日 (和暦)	緊急連絡先 (申込書記載の現住所と異なる連絡先がある場合のみ記入)	
診療放射線技師 (短大3卒程度)		年 月 日 (満 歳)	〒  TEL (     )     -	
当 院 を 志 望 し た 理 由				
診療放射線技師を志した理由/これまでの職歴を当院でどのように活用することができるか。※診療放射線技師としての職歴のある受験者は後者について記入				
診療放射線技師として心掛けていきたいこと			コミュニケーションをとるうえで心掛けていること	
最近関心を持ったこと (社会生活、時事問題、世界情勢 等)				
これまで力を入れて取り組んだこと (スポーツ、ボランティア、研究活動 等)				
自己PR (自己の性格、特技のほか何でも自由にあなたをPRしてください。)				
就職試験の受験状況 (※)			進学 of 志望状況 (※)	
◆			◆	
◆			◆	
◆			◆	
資格等	試験職種に関わらず取得している資格等について記載してください。			
賞罰			配偶者の有無	有 ・ 無

※任意 (今回の試験において、併願の有無により不利益を被ることはありません。)